



台地上を流れる小川沿いに、縄文時代の集落「炉焔遺跡」があります。復元された竪穴住居跡と、典型的な養蚕農家の暮らしを今に伝える「旧桜井家」から、各務原の歴史に触れることができます。酸性の強い土壌ゆえに農業に不向きだった台地も、やがて工業用地として利用され、工場が集まる一帯を東西に伸びる道路は、産業通りの名で親しまれています。



MEMO

